

**ご意見記入用紙**

**大阪市生物多様性戦略（案）について**

（意見受付期間）平成 30 年 2 月 15 日（木曜日）から平成 30 年 3 月 14 日（水曜日）

ご意見の該当箇所 （該当ページ・項目名等）	ご意見の内容
<p>P25 第 3 章 2. 大阪市内の生き物の現況 (1) 大阪市内の希少な生き物 および p 49 基本「前略 B 具体的施策 no17 p93</p>	<p>&lt;意見Ⅰ&gt; p 25 「(1) 大阪市内の希少な生き物」や「基本戦略 B no17」などでは、希少種に焦点が絞られて記載されている。 しかし、生物多様性の保護保全は、希少生物の個体群や個体だけではなく、それらと共生しあっている様々な種や人、またそれらが動的に創出し関係しあっている自然環境全体を保護保全する必要がある。 このため、上記部分などの記載には、希少種以外の生物相の現況や、それらと希少種とのつながり、それらの生息環境との動的なつながりなどもさらに分析考察し、記載する必要がある。 生物多様性の危機は、希少種が増加しているという半面、全国的に、いわゆる「普通種」が減退していることも示しており、希少種に主眼を置いた偏った記述を修正すべきである。</p> <p>&lt;意見Ⅱ&gt; p 25 「(1) 大阪市内の希少な生き物」で、「。4, 459 種の生き物が生息・生育していると考えられます」と記載している。 しかし、これらは p93 「4. 大阪市内の生物相」の記載のように既存文献・情報整理に基づく数値であるため、（この内容の初出となる）本文 p25 で先に、p93 記載のような数値根拠も正確に記載する必要がある。つまり、p25 と p93 の記載を入れ替え整合したほうが、誤解を招きにくい。 （市内でいま詳細な現地調査を実施しても、恐らく 4, 459 種もの種類は確認できないのではないかと考えられる）</p>

【以下の欄は、差し支えない範囲でご協力をお願いします。】

性別 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性			
年齢 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 19 歳以下 <input type="checkbox"/> 50 歳代	<input type="checkbox"/> 20 歳代 <input type="checkbox"/> 60 歳代	<input type="checkbox"/> 30 歳代 <input type="checkbox"/> 70 歳代	<input type="checkbox"/> 40 歳代 <input type="checkbox"/> 80 歳以上
住所 (該当するものに チェック・記入)	<input type="checkbox"/> 大阪市に居住している。 → 区 名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府内に居住している。 → 市 町 村 名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府外に居住している。 → 都道府県名 (            ) <input type="checkbox"/> 上記以外			

**ご意見記入用紙**

**大阪市生物多様性戦略（案）について**

（意見受付期間）平成 30 年 2 月 15 日（木曜日）から平成 30 年 3 月 14 日（水曜日）

ご意見の該当箇所 （該当ページ・項目名等）	ご意見の内容
P41 ■めざす街の姿・目標について	<p><b>■めざす街の姿・目標について</b></p> <p>P41に「めざすまちの姿：生物多様性の恵みを感じるまち」とありますが、生物多様性を感じる、恵を享受するだけでなく「生物多様性の保全への責任を果たすまち」をめざすまちの姿としてください。責任とは、「①大阪市市域に存在する生物多様性を保全する責任」と「②大阪市民や企業による消費や生産活動が他の地域の生物多様性の消失や劣化させない責任」があります。P3&lt;2050年の大阪市の「めざすまちの姿」&gt;に「生産・消費を通じた社会変革に向けた取り組みを進める」とありますが、これが進み実現した状態になることをめざすまちの姿として明記してください。また、前述①の責任が書かれていないので明記してください。</p> <p>上記に続く目標について3点書かれていますが、2点は大阪市の取り組みとしての具体性がなく、市戦略として機能しない目標になっています。愛知目標やSDGsなどの世界の目標に対して、大阪市としてどのように貢献していくかを明記してください。また、パートナーシップの仕組みについても、具体的にどんな仕組みを作り、どう機能させるのかを記述してください</p> <p>認知度については、唯一、大阪市としての目標が具体的な書かれていて、愛知目標の目標1を捉えた目標ですが、市政モニター、つまり政策に関心のある市民の認知度を50%にするというのは低すぎます。これでは国際的に見ても世界の動きを踏まえているとは言えません。生物多様性条約事務局による愛知目標の中間報告では、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカのデータに基づいた2014年時点の一般認知度は65%を超えており、2020年には70%を越えるとされています。また、大阪府は一般認知度70%としているので、大阪市もそれに匹敵する認知度を目標としてください。市政モニターを指標とする場合は70%より高い目標に設定してください。</p>

【以下の欄は、差し支えない範囲でご協力をお願いします。】

性別 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性
年齢 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 19歳以下 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
住所 (該当するものに チェック・記入)	<input type="checkbox"/> 大阪市内に居住している。 → 区 名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府内に居住している。 → 市町村名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府外に居住している。 → 都道府県名 (            ) <input type="checkbox"/> 上記以外

**ご意見記入用紙**

**大阪市生物多様性戦略（案）について**

（意見受付期間）平成 30 年 2 月 15 日（木曜日）から平成 30 年 3 月 14 日（水曜日）

ご意見の該当箇所 （該当ページ・項目名等）	ご意見の内容
<p>P63 第 5 章 基本戦略 C 生物多様性に配慮した生産・消費への変革</p> <p>■木材・自然資源の生産消費</p>	<p>■木材・自然資源の生産消費について</p> <p>「基本戦略 C 生物多様性に配慮した生産・消費への変革」の中にある、3 つの方針の階層が揃っていません。方針 1 は変革を促す手法（地産地消を発信する）、方針 2 と 3 は変革を促す主体（方針 2：事業者／方針 3：一般の消費者及び役所）でわけてあります。したがって、もれなくダブリなく整理できていません。</p> <p>具体的施策 No. 30 について取り組みを進める上で大阪市が施策として行うことを明記してください。具体的施策 No. 32 にその一部が書かれていますが、整理して記述してください。No. 32 が環境省のガイドラインとは別に大阪市が独自に行う施策なのであればどんな自主的取り組みを事業者に促すのかを明記してください。また、No.32 の施策が、No. 31 のガイドラインの中でも、特に調達に焦点を当てて書かれているのであれば、木材だけではなく、他の農林水産資源についても明記してください。また、No. 36 にも「木材利用を推進します」とありますが国産材の活用を進めることを明記してください。</p>

【以下の欄は、差し支えない範囲でご協力をお願いします。】

性別 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性			
年齢 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 19 歳以下	<input type="checkbox"/> 20 歳代	<input type="checkbox"/> 30 歳代	<input type="checkbox"/> 40 歳代
	<input type="checkbox"/> 50 歳代	<input type="checkbox"/> 60 歳代	<input type="checkbox"/> 70 歳代	<input type="checkbox"/> 80 歳以上
住所 (該当するものに チェック・記入)	<input type="checkbox"/> 大阪市に居住している。 → 区 名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府内に居住している。 → 市 町 村 名 (            ) <input type="checkbox"/> 大阪府外に居住している。 → 都道府県名 (            ) <input type="checkbox"/> 上記以外			

**ご意見記入用紙**

**大阪市生物多様性戦略（案）について**

（意見受付期間）平成 30 年 2 月 15 日（木曜日）から平成 30 年 3 月 14 日（水曜日）

ご意見の該当箇所 （該当ページ・項目名等）	ご意見の内容
P65 第 5 章：目標達成に向けた 取組み 具体的施策 No. 39	「第 5 章：目標達成に向けた取組み」では、都市環境問題に対する取組みが方針 I として掲げられ、その中の【具体的施策 No. 39】には「川や海の水質・水辺環境の改善に取り組みます」と記載がある。 しかし水質を綺麗にすることのみ記載されており、水辺の生物が棲みやすい水辺環境作りのことが一切書かれていない。 本来有るべき自然との共存関係に近づけるよう、生物の目線から考えた取組み内容を記載、実行すべきである。

【以下の欄は、差し支えない範囲でご協力をお願いします。】

性 別 （該当するものにチェック）	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性
年 齢 （該当するものにチェック）	<input type="checkbox"/> 19 歳以下 <input type="checkbox"/> 20 歳代 <input type="checkbox"/> 30 歳代 <input type="checkbox"/> 40 歳代 <input type="checkbox"/> 50 歳代 <input type="checkbox"/> 60 歳代 <input type="checkbox"/> 70 歳代 <input type="checkbox"/> 80 歳以上
住 所 （該当するものに チェック・記入）	<input type="checkbox"/> 大阪市内に居住している。 → 区 名（            ） <input type="checkbox"/> 大阪府内に居住している。 → 市 町 村 名（            ） <input type="checkbox"/> 大阪府外に居住している。 → 都道府県名（            ） <input type="checkbox"/> 上記以外

**ご意見記入用紙**

**大阪市生物多様性戦略（案）について**

（意見受付期間）平成 30 年 2 月 15 日（木曜日）から平成 30 年 3 月 14 日（水曜日）

ご意見の該当箇所 （該当ページ・項目名等）	ご意見の内容
<p>P72 第 6 章 大阪市生物多様性戦略の推進に向けて</p> <p>●これに関連して 具体的施策 基本戦略 A N003 の後ろ など</p>	<p>●第 6 章 大阪市生物多様性戦略の推進に向けて 文章や概念図の中央に「なにわエコスクエア」の施設名のみがあがっていますが、そこにどんな機能を持たせていくのか、何を行うか、ということがまったく記載されていません。</p> <p>多様な主体が協働・連携して取り組みを推進していくための、‘ハブ’あるいはプラットフォーム機能を担う機関をイメージしている図と捉えられます。そういった目指す機能について、明確に記載することが、まず必要です。あわせて具体的にどのようなことを取り組んでいくのか、始動していくために必要な初期段階の事業をひとつでも設定し、第 5 章の 3. 具体的施策の中で、きちんと位置づけることを要望します。</p> <p>●これに関連して 具体的施策 基本戦略 A N003 の後ろ など</p> <p>「大阪市エコボランティア」の取り組みは結構なことだと思い、ぜひ積極的にすすめていただければと思います。ただ、それだけで市民参加・参画・協働にはつながりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な市民グループの活動がさらに活発になるよう、行政として多くの団体・活動をサポートする取り組みや事業も併せて取入れ明記してください。</li> <li>・また多彩な情報を共有・交換し、連携した取り組みへと発展していく仕組みづくりが不可欠で、それを促す役割が行政にはあります。</li> </ul> <p>同時に、環境学習や市民啓発が、消費行動や企業の事業へとつなげていくという強い意思をもった「戦略」であることが求められるはずで、市民や大学などでの調査等を有効に活用していくために研究機関等が連携し、データ・情報管理をするシステムも重要です。</p> <p>それらの連携の取り組みを積極的に推進するための、「マッチング」機能をもつ施設・あるいは機関（生物多様性センターのような機能）を設けることを近い将来ビジョンに加えることを要望します。</p>

【以下の欄は、差し支えない範囲でご協力をお願いします。】

性別 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性			
年齢 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 19 歳以下 <input type="checkbox"/> 50 歳代	<input type="checkbox"/> 20 歳代 <input type="checkbox"/> 60 歳代	<input type="checkbox"/> 30 歳代 <input type="checkbox"/> 70 歳代	<input type="checkbox"/> 40 歳代 <input type="checkbox"/> 80 歳以上
住所 (該当するものに チェック・記入)	<input type="checkbox"/> 大阪市に居住している。 → 区 名 ( ) <input type="checkbox"/> 大阪府内に居住している。 → 市町村名 ( ) <input type="checkbox"/> 大阪府外に居住している。 → 都道府県名 ( ) <input type="checkbox"/> 上記以外			